

国境を超える。活躍の舞台は、世界だ。

2021年3月19日(金) | Zoomによるオンライン開催

司会: Prof. Jorge N. TENDEIRO HIRAKU-Global プログラムマネージャー

アドバイザリーボードメンバー



Prof. Robert W. MAHLEY

米国グラッドストーン研究所 創設者・名誉所長

Best Places to Work Postdocs ベスト3に4年連続で選ばれている世界屈指の研究機関を創設、牽引してきた氏が、研究者としての成功の秘訣を説く。2012年ノーベル生理学・医学賞受賞者の山中伸弥氏の恩師であり、モットーであるVW(Vision and Hard Work) はマーレー氏の教えであることは有名。



Prof. Alastair G. McEWAN

豪州クイーンズランド大学副総長(研究養成担当)

豪州クイーンズランド大学において研究養成担当副総長および大学院総長として、そして豪州大学院研究評議会実行委員長として、豪州全域にわたる博士研究者養成の変革を先導している氏が、豪州の先端事例を説く。



Prof. Jeremy P. BRADSHAW

英国バース大学副学長(国際&博士担当)

英国バース大学副学長として国際展開や優秀な博士人材輩出に向けて組織を牽引する傍ら、数多くの欧州大学連盟での要職に加え、国内外の教育質保証機構において評価委員を務める氏が、博士課程教育の専門家として、欧州の先端事例を説く。



原山 優子

理化学研究所理事

前 総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員

経済協力開発機構(OECD)科学技術産業局次長職を経て、総合科学技術・イノベーション会議常勤議員職を務め、長年にわたり国内外の科学技術振興に貢献してきた氏が、世界を目指す次世代の研究者たちの直面する課題とともに向き合う。



登田 隆

広島大学学術院 特任教授

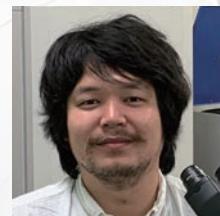
英国フランシス・クリック研究所(旧英国癌研究所)にて上席主任研究員として、21年間(1995-2015)細胞制御研究室を統括してきた氏が、国際的に第一線で活躍する日本人研究者を代表して次世代の研究者たちに助言する。

第一期 HIRAKU-Global 教員



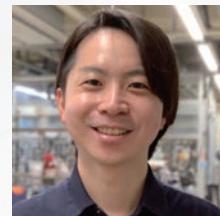
長谷 栄治

徳島大学
(光計測)



今井 啓之

山口大学
(獣医学)



今任 景一

広島大学
(高分子化学)



稻見 華恵

広島大学
(天文学)



酒井 大史

愛媛大学
(スポーツ科学)



谷峰 直樹

広島大学
(消化器外科)



梅村 比丘

広島大学
(心理学)

